



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,281	△20.4	△617	—	△540	—	△632	—
2020年3月期第2四半期	5,381	3.0	△900	—	△886	—	△1,622	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△18.22	—
2020年3月期第2四半期	△46.76	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	14,994	11,370	75.8	327.61
2020年3月期	15,983	11,947	74.8	344.22

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,370百万円 2020年3月期 11,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	△13.9	△600	—	△500	—	△600	—	△17.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	34,838,325株	2020年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	130,738株	2020年3月期	130,591株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	34,707,690株	2020年3月期2Q	34,707,884株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞や、インバウンド需要の消失・個人消費の低迷等により、先行きについて極めて不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。

ヘルスケア事業を取り巻く環境は、消費税増税による個人消費の落ち込みに加え新型コロナウイルスの影響によりインバウンド需要が急激に悪化いたしました。

そのなかにあつて当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」及び主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤（特許を持った後発品）「カルテオロール塩酸塩L点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」に加えて、乳酸菌製剤「レベニン錠」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オプティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進並びに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズ2製品及び通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」（乳酸菌含有加工食品）の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」及び医薬品、原料薬品の製造販売並びにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は42億8千1百万円（前年同期比20.4%減）、営業損失6億1千7百万円（前年同期は営業損失9億円）、経常損失は5億4千万円（前年同期は経常損失8億8千6百万円）、四半期純損失は6億3千2百万円（前年同期は四半期純損失16億2千2百万円）となりました。なお、WP-1108（BBG250を主成分とする眼科用手術補助剤）の開発進捗の遅延により、当該開発のために資産計上していた特許実施権を取り崩しております。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では、「ドルモロール配合点眼液」サプリメント「オプティエイド」シリーズの売上が増加いたしました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う患者さんの医療機関への受診抑制、手術・検査数の減少等により「マキユエイド眼注用40mg」「キャピリアアデノアイNeo」の売上が減少いたしました。この結果、売上高は27億8千6百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

ヘルスケア事業では、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。訪日外国人激減の影響等により主力製品の「強力わかもと」が大幅に減少いたしました。この結果、売上高は10億9千5百万円（前年同期比37.1%減）となりました。

国際事業では、輸出用の「ゼペリン」及び輸出用原料薬品が減少いたしました。海外向け「わかもと」が増加いたしました。この結果、売上高は3億2千1百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。コレド室町は政府や東京都からの休業要請を受け、当2四半期累計期間において4月8日から5月28日まで休館しておりました。この結果、売上高は7千7百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、149億9千4百万円となり前事業年度末比9億8千8百万円（6.2%減）の減少となりました。流動資産は79億3百万円となり7億4千5百万円（8.6%減）の減少、固定資産は70億9千1百万円となり2億4千3百万円（3.3%減）の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、売掛金及び棚卸資産が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、機械装置が増加した一方、特許実施権が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、36億2千4百万円となり前事業年度末比4億1千1百万円（10.2%減）の減少となりました。流動負債は20億5百万円となり4億2千9百万円（17.6%減）の減少、固定負債は16億1千9百万円となり1千7百万円（1.1%増）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、113億7千万円となり前事業年度末比5億7千6百万円（4.8%減）の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の74.8%から75.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の状況を鑑み、2020年5月27日に公表いたしました通期の業績予想を修正し、売上高94億円、営業損失6億円、経常損失5億円、当期純損失6億円と予想しております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療機関への受診抑制やインバウンド需要の消失等により当初予想より売上が大幅に減少し、又、工場稼働率の低下によって売上原価が上昇となりました。加えて特許実施権の取り崩しで3億円の特別損失を計上したため当期純損失の見込額が拡大しております。

内容につきましては、本日(2020年11月4日)別途発表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」も併せてご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提と予測に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,883,666	2,812,527
受取手形及び売掛金	3,078,450	2,510,629
商品及び製品	1,410,642	1,411,210
仕掛品	504,744	418,862
原材料及び貯蔵品	548,492	553,616
未収還付法人税等	6,966	48,232
その他	215,136	147,984
流動資産合計	8,648,099	7,903,062
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,841,082	7,892,716
減価償却累計額	△4,906,097	△5,008,585
建物(純額)	2,934,984	2,884,131
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△228,707	△232,546
構築物(純額)	39,796	35,957
機械及び装置	8,057,099	8,246,007
減価償却累計額	△7,652,178	△7,724,444
機械及び装置(純額)	404,921	521,562
車両運搬具	50,273	50,273
減価償却累計額	△40,968	△43,941
車両運搬具(純額)	9,304	6,332
工具、器具及び備品	982,997	1,005,865
減価償却累計額	△881,880	△897,563
工具、器具及び備品(純額)	101,116	108,301
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	75,400	41,429
有形固定資産合計	3,648,472	3,680,663
<b>無形固定資産</b>		
特許実施権	300,000	-
特許権	109	49
ソフトウェア	177,595	183,037
ソフトウェア仮勘定	3,750	-
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	485,134	186,766
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,411,421	2,488,108
保険積立金	468,720	426,699
その他	363,308	349,783
貸倒引当金	△41,736	△40,146
投資その他の資産合計	3,201,714	3,224,444
固定資産合計	7,335,321	7,091,875
資産合計	15,983,421	14,994,938

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355,782	904,149
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	34,944	33,064
賞与引当金	170,000	118,500
返品調整引当金	3,000	4,000
その他	770,881	845,609
流動負債合計	2,434,608	2,005,323
固定負債		
退職給付引当金	1,079,452	1,072,922
長期預り金	170,225	170,225
繰延税金負債	348,336	372,816
その他	3,709	3,179
固定負債合計	1,601,724	1,619,144
負債合計	4,036,333	3,624,467
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	4,939,571	4,307,114
自己株式	△36,125	△36,164
株主資本合計	10,975,161	10,342,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	971,925	1,027,804
評価・換算差額等合計	971,925	1,027,804
純資産合計	11,947,087	11,370,470
負債純資産合計	15,983,421	14,994,938

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,381,050	4,281,640
売上原価	2,333,217	2,169,327
売上総利益	3,047,833	2,112,313
販売費及び一般管理費	3,948,332	2,729,413
営業損失(△)	△900,499	△617,100
営業外収益		
受取利息	13	-
受取配当金	24,403	25,101
受取補償金	-	6,325
雇用調整助成金	-	46,245
為替差益	708	-
その他	5,549	9,940
営業外収益合計	30,674	87,613
営業外費用		
支払利息	375	284
固定資産除却損	282	-
寄付金	13,082	10,856
為替差損	-	187
その他	2,607	106
営業外費用合計	16,348	11,434
経常損失(△)	△886,173	△540,921
特別利益		
投資有価証券売却益	-	217,246
特別利益合計	-	217,246
特別損失		
減損損失	-	300,000
特別損失合計	-	300,000
税引前四半期純損失(△)	△886,173	△623,675
法人税、住民税及び事業税	8,748	8,781
法人税等調整額	727,967	-
法人税等合計	736,716	8,781
四半期純損失(△)	△1,622,889	△632,456

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△886,173	△623,675
減価償却費	232,704	236,464
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,028	△1,590
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34,535	△6,529
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,300	△51,500
受取利息及び受取配当金	△24,416	△25,113
支払利息	375	284
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△217,246
固定資産除却損	282	11
減損損失	-	300,000
売上債権の増減額(△は増加)	460,042	567,820
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,129	80,190
仕入債務の増減額(△は減少)	△133,831	△478,267
未収消費税等の増減額(△は増加)	71,653	14,678
未払消費税等の増減額(△は減少)	-	9,759
その他	△166,853	22,028
小計	△583,210	△172,684
利息及び配当金の受取額	24,416	25,113
利息の支払額	△375	△284
法人税等の還付額	22,421	6,966
法人税等の支払額	△4,053	△65,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△540,801	△206,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31,047	△83,403
無形固定資産の取得による支出	△24,252	△43,976
投資有価証券の取得による支出	△1,854	△1,920
投資有価証券の売却による収入	-	222,838
投資その他の資産の増減額(△は増加)	37,688	44,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,466	137,788
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△40,000	-
自己株式の取得による支出	△48	△36
配当金の支払額	△576	△47
リース債務の返済による支出	△1,600	△2,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,225	△2,245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△602,494	△71,139
現金及び現金同等物の期首残高	3,261,813	2,883,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,659,319	2,812,527

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,236,514	1,741,342	311,507	91,685	5,381,050	—	5,381,050	—	5,381,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,236,514	1,741,342	311,507	91,685	5,381,050	—	5,381,050	—	5,381,050
セグメント利益又は 損失(△)	△1,023,665	45,831	39,963	37,372	△900,499	—	△900,499	—	△900,499

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,786,991	1,095,782	321,604	77,261	4,281,640	—	4,281,640	—	4,281,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,786,991	1,095,782	321,604	77,261	4,281,640	—	4,281,640	—	4,281,640
セグメント利益又は 損失(△)	△322,162	△248,881	△70,060	24,004	△617,100	—	△617,100	—	△617,100

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬事業」セグメントにおいて、WP-1108の開発進捗遅延により、当該開発のための特許実施権の減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は第2四半期累計期間においては300,000千円であります。